

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
交通安全施設整備事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
交通安全施設等の設置・補修の件数	件	70	74	70		70	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	交通安全施設等の設置・補修の要望件数が増加しているなか、施設の老朽化に伴う補修工事や通学路における安全対策なども実施しているところである。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	交通安全施設については、通学路点検による危険箇所の安全対策をはじめ、市の各種計画に位置付けられた道路環境の整備を推進する必要がある。また、既存施設の老朽化による補修が急がれる。道路改良事業など事業費が大きい事業が進んでいない状況を考えると、交通安全施設の設置及び補修は有効であり今後も推進していく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
成田財特路線整備事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路改良延長	m	0	0	240		260	
用地買収	%	70.76	70.88	78.19		93.50	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	国の社会資本整備総合交付金を活用した事業であり、交付額により事業の進捗に影響があるが、平成30年度については交付金を有効に活用し事業を進められた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	事業規模が大きいため、今後の国の交付金や市の財政状況等から事業費の確保が困難となっている。 しかしながら、成田財特法に基づく「成田国際空港周辺地域整備計画」により実施している事業であることや、当該道路が通学路であるため、歩行者の安全を確保するためにも、可能な範囲で事業を進めていく必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路橋りょう総務事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路台帳の補正延長	km	1	320	1		1	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	道路台帳の補正延長について、補正を行い適正な台帳管理ができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	道路行政の円滑に進めるため、引き続き道路事務の適正化を図る。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路登記事業	都市建設部	建設課	用地班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
未登記処理件数	筆	10	4	10		10	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	実績値が目標値を上回ることはなかったものの、主要幹線道路の未登記や、長年の懸案事項であった未登記箇所の処理が進んだため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	富里市道内に存在する未登記用地を的確に把握し、寄附による権原取得について、引き続き土地所有者との交渉に努める。 また、土地分筆登記を必要とする未登記箇所が多くを占めることから、用地測量業務委託料の確保に努める。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路維持管理事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路賠償責任保険発生件数	件	0	7	0		0	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	要望等の対応や週1回の道路パトロールを実施し、適正な維持管理業務を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、良好な道路環境の維持に向けて適正な管理を行う。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路維持補修事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
舗装修繕実施延長	km	12	1	12		12	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	実績値は目標値を下回ったが、幹線道路を含め、舗装整備を実施することができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引続き、道路の維持補修を着実に進めていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路改良事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
整備延長	m	700	800	700		700	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	限られた予算の範囲内で整備を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	道路改良事業については、生活道路の拡幅や歩道の確保、通学路点検による危険箇所の安全対策等の道路整備を推進する必要がある。 市の財政状況にもよるが、予算が十分ではないこともあり、今後も整備を推進していく必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
排水対策事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
排水ポンプ廃止件数	箇所	6	0	5		4	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	社会資本整備総合交付金を活用し、着実に排水整備事業を推進することができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引続き、冠水解消に向け排水整備事業を進めていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	